

病院 副院長／脳血管部門長

豊田 一則 (TOYODA Kazunori)



## 研究の背景・目的

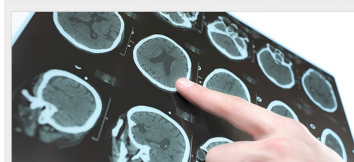
- ☆ 「日本脳卒中データバンク」は国内多施設共同の急性期脳卒中登録事業。
- ☆ 1999年から登録を始め、25年間で30万件超の個票を登録。
- ☆ 各種著作、報道、啓発資料などに多く引用。
- ☆ 40編超の英語原著論文を公表、企業とタイアップした研究活動。
- ☆ 毎年の解析情報をHPに公開。5年毎に解析情報を書籍として刊行。

## 研究内容

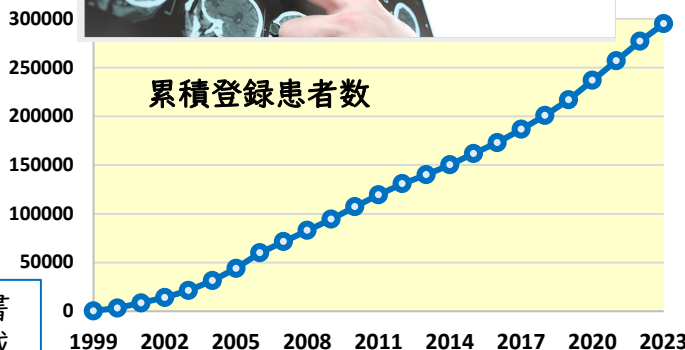
100施設を超える参加施設



日本脳卒中データバンク <https://strokedatabank.ncvc.go.jp/>

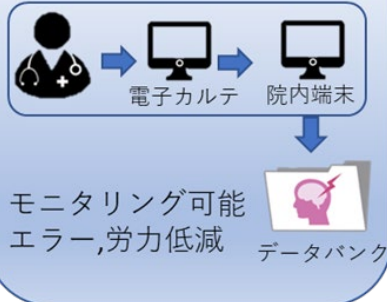


日本脳卒中データバンクは、本邦における脳卒中の診療実態を把握する為に構築された疾患レジストリーです。

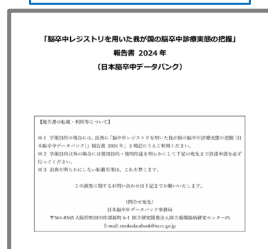


累積登録患者数

✓ 電子カルテと連動しWebを介したデータ入力



年次報告書をHPに掲載



書籍刊行

脳卒中データバンク 2026 作成中

## 期待される効果・応用分野

収集された臨床情報は、登録参加施設医師が利用可能で、JAMA Neurology, Neurology, JNNPなど多くの一流英文誌への論文公表に繋がっています。企業などの団体が情報利用を希望される場合は、当施設との共同研究という形式で、使っていただいています。脳卒中診療の進歩に応じて、収集項目を追加するなど、工夫しています。

## 特許・共同研究等

AMED、科研費などの助成獲得  
ソフトバンクとの共同研究：AIを用いた解析  
アストラゼネカとの共同研究：抗凝固薬

## 産学連携本部から一言

日本脳卒中データバンクは、国内最大規模の基盤です。治療法の評価や予後予測モデル開発など、企業の研究開発にも直結する貴重な資源であり、産学連携を通じた新たな価値創出が大いに期待されます。

▶キーワード：脳梗塞、脳出血、大規模データベース研究（ビッグデータ）